

世界的フラメンコギタリスト

# 沖 仁 ギター・リサイタル

with 佐藤芳明

## 沖 仁 Jin Oki

ピアノや尺八を経て14歳でエレキギターを手にする。  
カナダでクラシックギターを学び、20歳でフラメンコと出会う。  
岡弘嗣、伊藤日出夫、セラニート各氏に師事。  
スペインと日本を往復し、アンダルシアの生活に根付いたフラメンコを吸収しながら20代を過ごす。97年ANIF新人公演に於いて奨励賞受賞。

2010年スペインで開催された”ニーニョ・リカルドフラメンコギターコンクール”国際部門に於いて満場一致で優勝、アジア人として初の快挙となる。その模様をTBS系「情熱大陸」でオンエアされ、大きな反響を呼ぶ。その後EXILEにシングル曲提供、フジテレビ系「ヨルタモリ」へ常連客として出演。

アジア、南米、ヨーロッパで数々のワールドツアーを行い、15ヶ国以上での豊富な演奏経験を持つ。ステージのレパートリーは、コアなフラメンコ曲から各ジャンルのカバー、沖仁の心象風景に根ざしたオリジナル曲まで幅広く、聴衆を飽きさせないステージを信条としている。多くのオリジナル曲がCMやテレビ番組等のタイアップ曲としてオンエアされている。

また柔軟な感性と高度な演奏技術を駆使した変幻自在なコラボレーションに定評があり、各界のトップアーティストからオファーが後をたたない。共演ジャンルは多岐に渡り、クラシック、ジャズ、ポップス、ロックから演歌、邦楽、またバレエ、フィギュアスケート、能、演劇、朗読等幅広い。

近年は演奏家以外の活動も活発化しており、作曲家として映画、CMを含む映像作品や、他ジャンルのアーティストへの楽曲提供、アレンジやプロデュース、連載やコラムの執筆、さらにワークショップや教材制作を通じて教授活動を行う。

ヤマハ株式会社、Aranjuez社、またギター製作家の黒澤哲郎氏と、沖仁監修モデルのフラメンコギターをリリース。多角的なアーティスト活動を通し、スペインの民族楽器に留まらない、新たなフラメンコギターの価値創造、唯一無二のフラメンコギター表現に全力を注いでいる。

スペイン語、英語も操るトリリンガル。



## 佐藤 芳明 Yoshiaki Sato

国立音楽大学在学中に独学でアコーディオンを始める。  
卒業後渡仏、C.I.M.Ecole de Jazzにてアコーディオニスト・Daniel Milleに師事。

既存のアコーディオンのイメージにとらわれない独自のサウンドで、ライブ、レコーディング、アーティストサポート、舞台音楽など、様々な現場で仕事をこなし、国内外を問わず、ジャンルを越えて幅広く活動。

『ガレージシャンソンショー』など個性的なユニットに参加する一方、スタジオミュージシャンとして椎名林檎、米津玄師、三宅純、久石譲など数多のアーティストのレコーディングに参加、CMや劇伴でもファーストコールの奏者としてあらゆるオーダーに応え続けている。

